

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が44.8%、「少し感じている」が23.4%と、愛着や誇りを感じている人が68.2%となっている。一方、「あまり感じていない」が4.3%、「感じていない」が1.8%で、愛着や誇りを感じていない人は6.1%と1割に満たない。

令和元年度～7年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は令和2年度が74.7%と最も割合が高く、それ以降は減少しており、令和5年度からは横ばいとなっている。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、70歳代以上が最も高くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男性は20歳代と60歳代が高く、女性では40歳代と70歳以上が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べて高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,596)

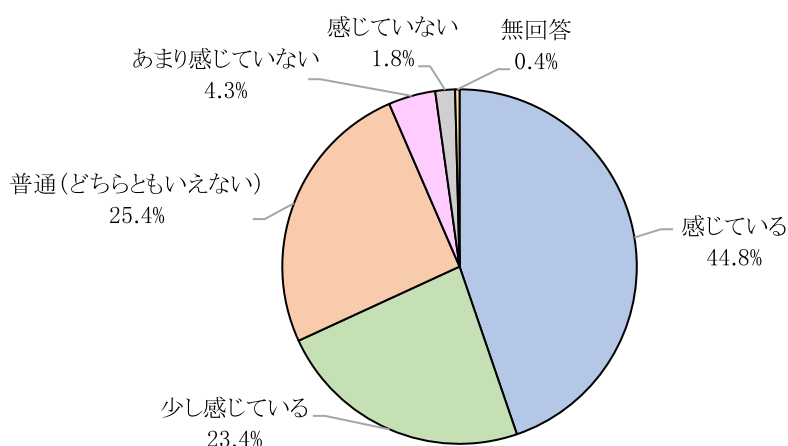


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(年次比較)

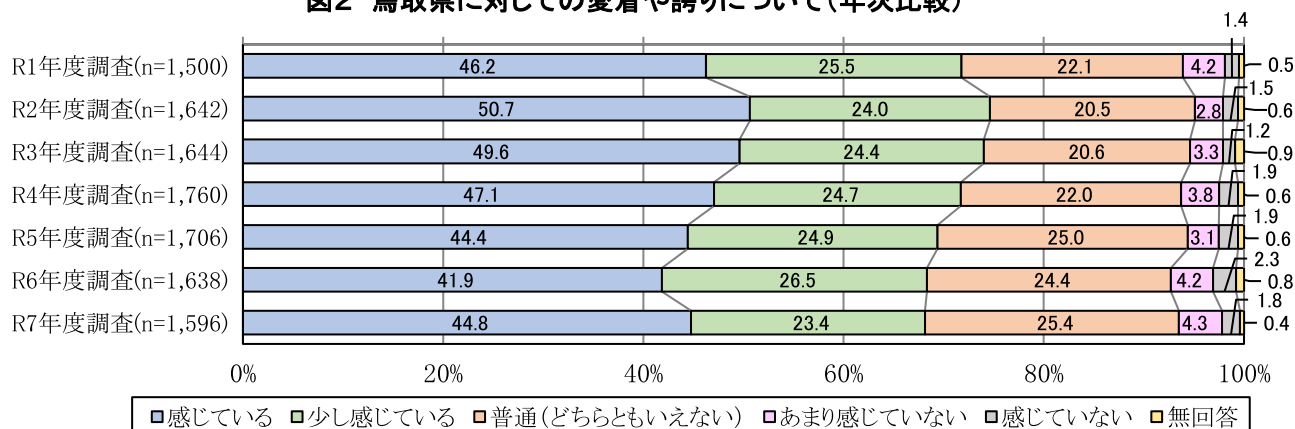
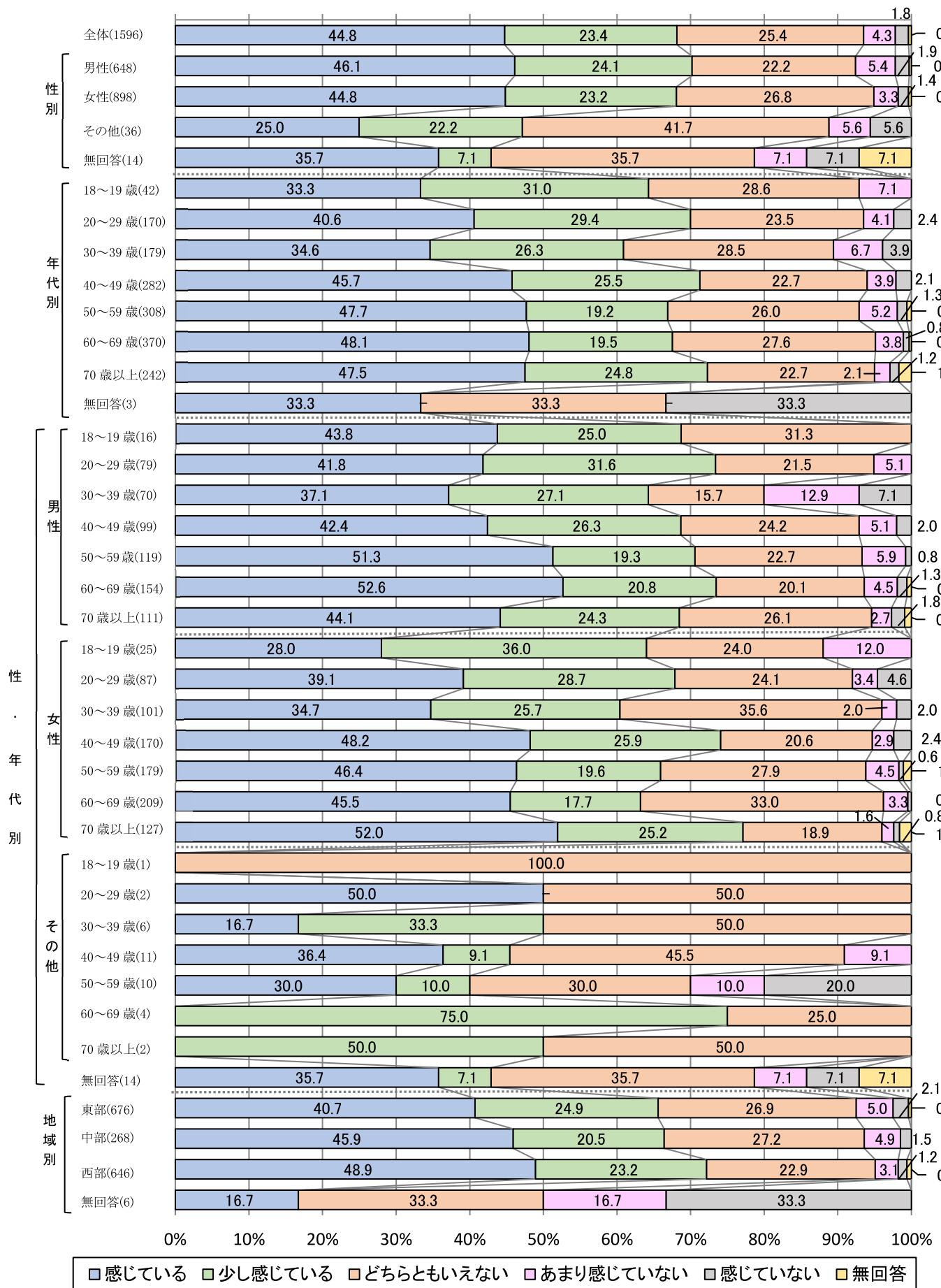


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(性別・年代・地域別)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が19.5%、「どちらかという住みやすい」が43.7%で、住みやすいと答えている人が合わせて63.2%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が8.7%、「住みにくい」が2.4%で、住みにくいと答えている人は合わせて11.1%となっている。

令和元年度-7年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、令和2年度の70.7%が最も割合が高く、それ以降は減少傾向となっているが、令和7年度は前年度と比べると僅かに増加している。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、50歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は50歳代以上で高く、女性は20歳代、40～50歳代が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,596)

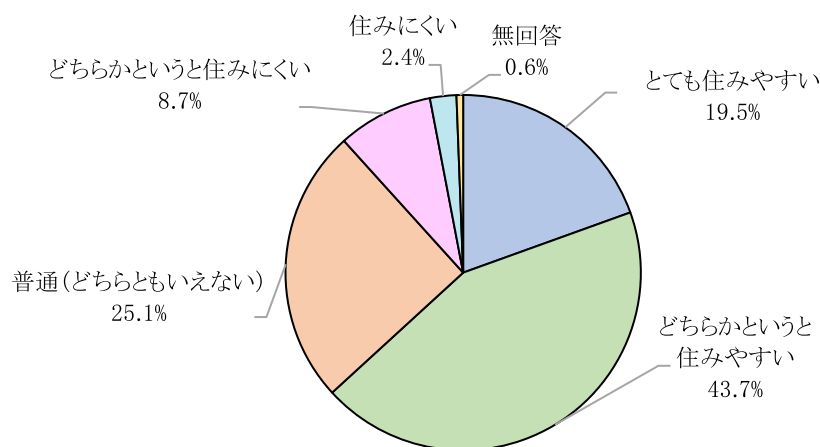


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

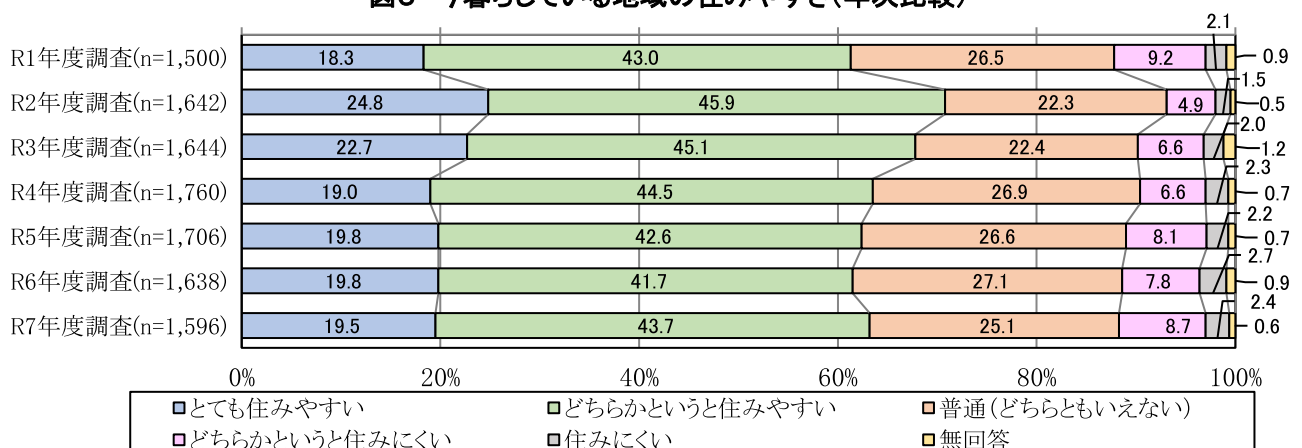
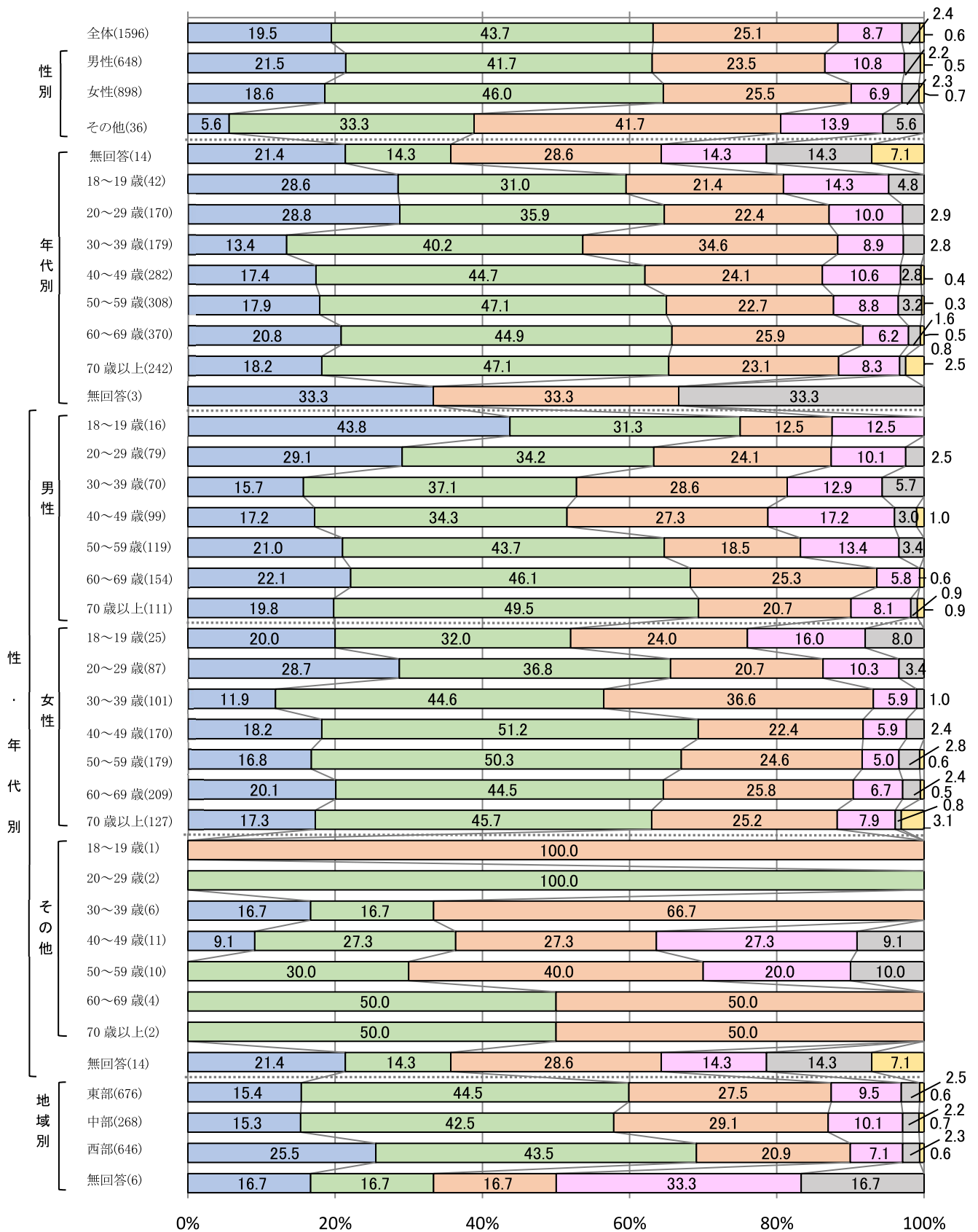


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代・地域別)



■とても住みやすい □どちらかという住みやすい □どちらともいえない □どちらかという住みにくい □住みにくい □無回答

問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目（設問）についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる（そう思う）項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が90.4%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.1%、「住んでいる住民（県民）が親切である」が56.8%、「地域での人と人とのつながりがある」が50.1%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない（そう思わない）項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が61.3%で最も割合が高く、次いで「医療や介護の体制が充実している」、
「ストレスなく日常生活を送ることができる」が16.6%となっている。

令和元年度～7年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる（そう思う）との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民（県民）が親切である」は全ての年度で5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。また「住んでいる住民（県民）が親切である」については、前年度より3ポイント程度増加している。

図7 鳥取県の暮らしについて（n=1,596）

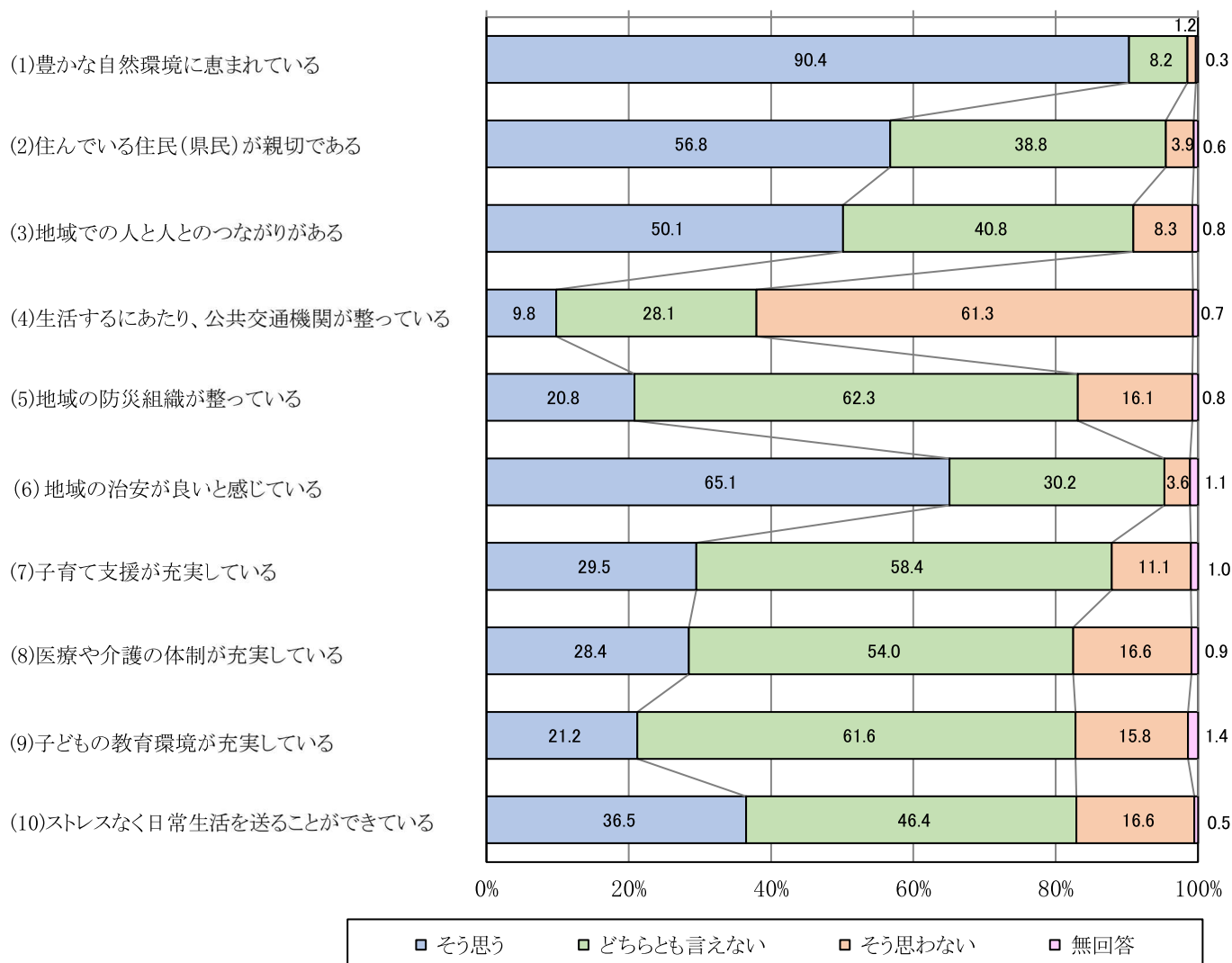
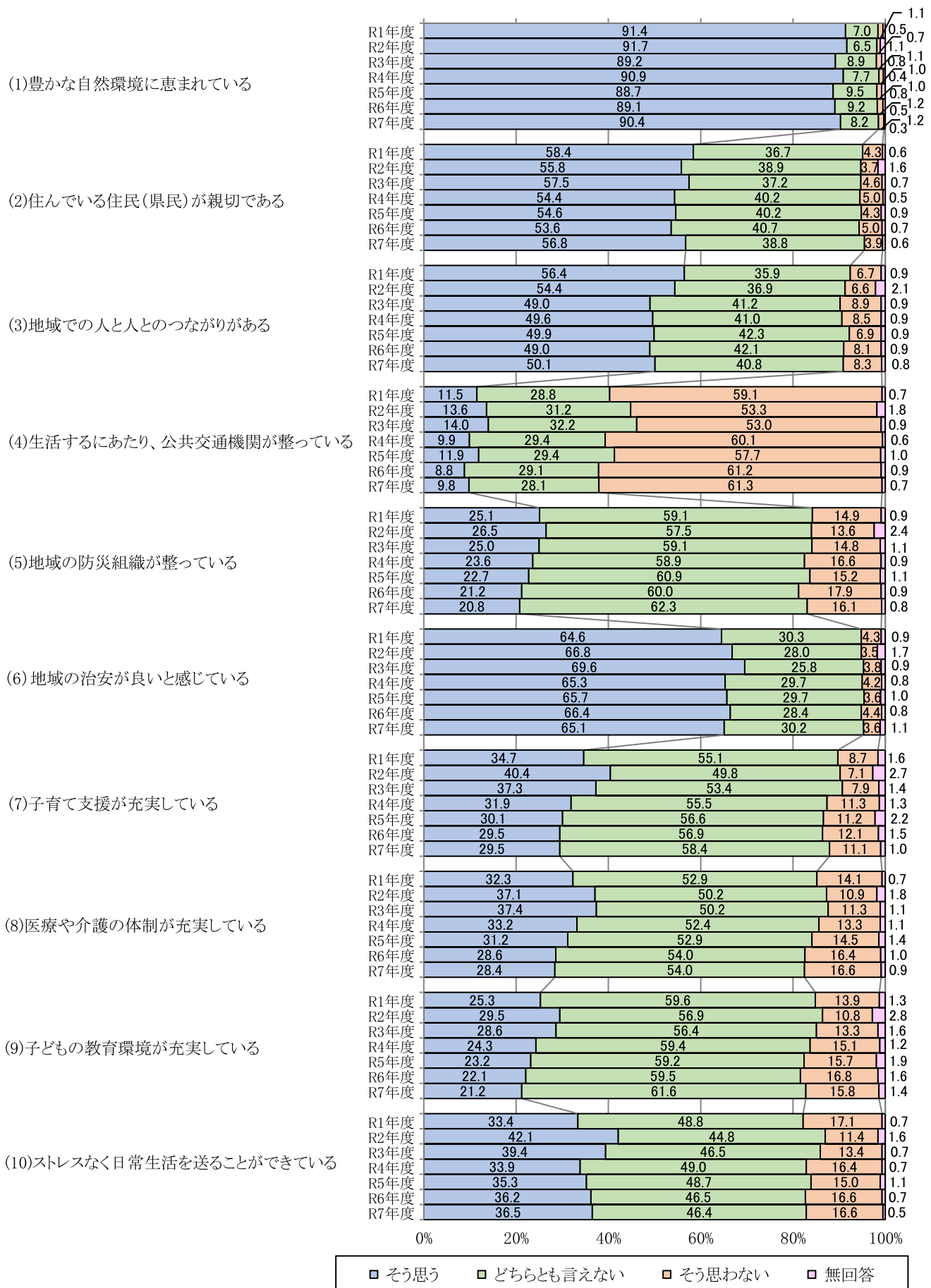


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が27.3%と最も割合が高く、8点が20.9%、7点が19.2%、6点が11.6%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は89.4%となっている。

性・年代別でみると、幸福度5点以上は男性の20歳代と60歳代、女性の30歳代で高くなっている。一方、男性の30歳代と女性の40歳代は他の年代と比べて低くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか（年次比較）

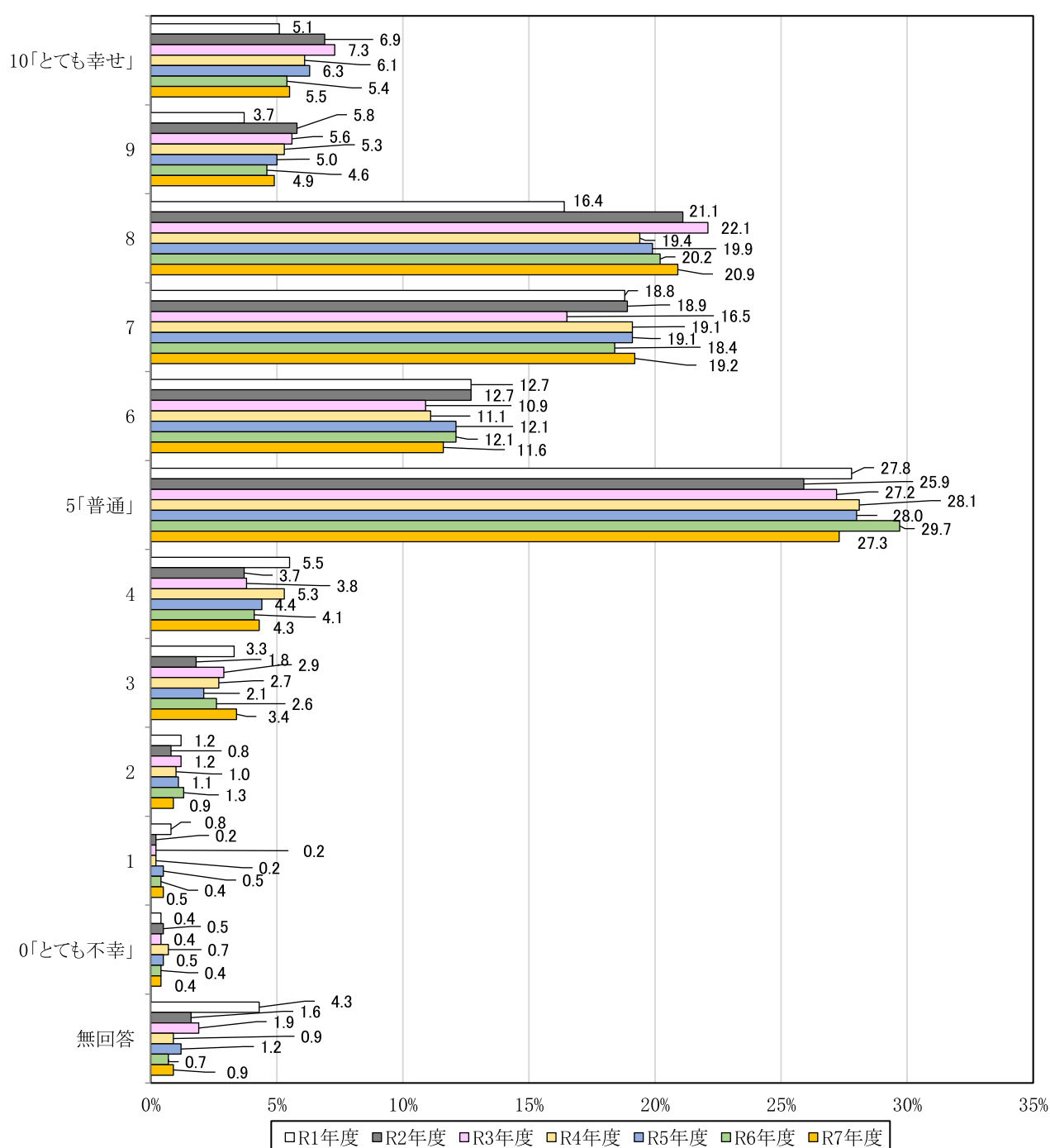
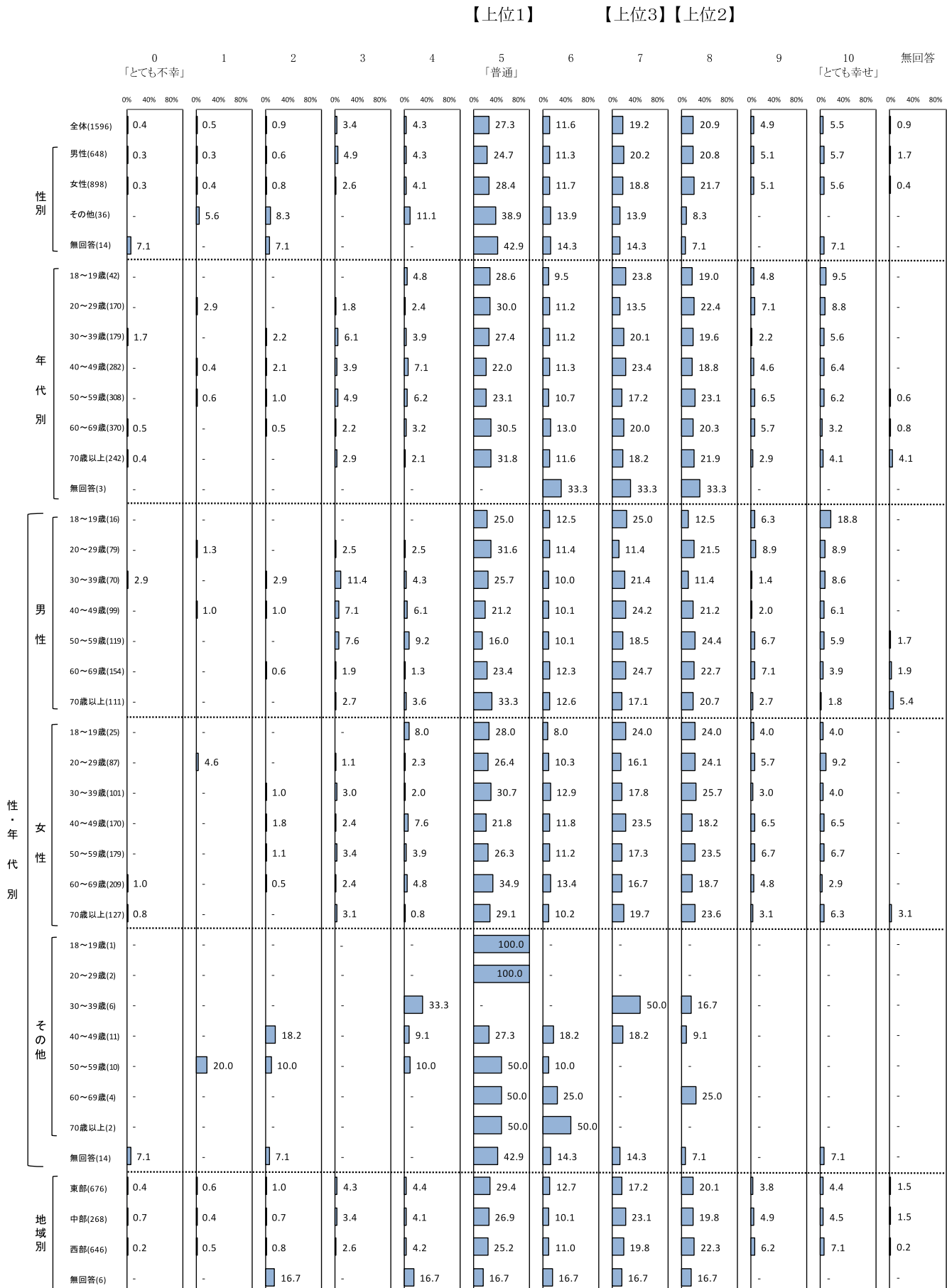


図 10 鳥取県に暮らして、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「自身の健康の状況」「家計の状況」「家族関係」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「自身の健康の状況」が70.6%と最も割合が高く、次いで「家計の状況」が70.4%、「家族関係」が59.3%、「精神的なゆとり」が59.0%となっている。

令和元年度-7年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。

年代別でみると、「自身の健康の状況」は50歳代以上、「家計の状況」は30歳代以上、「家族関係」「精神的なゆとり」は30～50歳代、「自由な時間(充実した余暇)」「趣味などのいきがい」「友人関係」は30歳代以下が高くなっている。

性・年代別でみると、「自身の健康の状況」は女性の50歳代以上、「家計の状況」は女性の30～40歳代が高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは（年次比較）

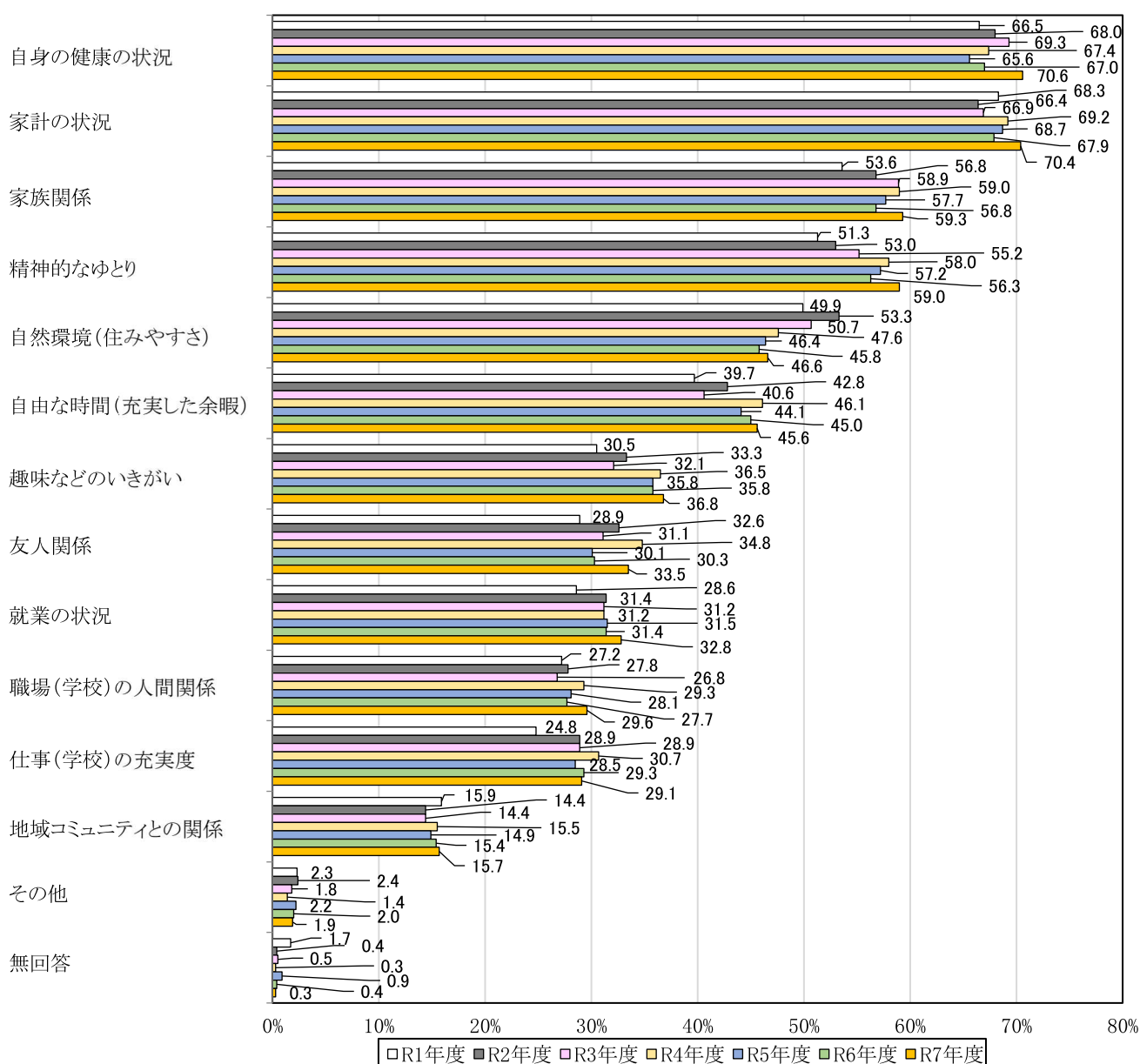


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】

